

休眠預金を活用した 災害支援事業への取り組み

これまでの取り組み事例から、能登のこれからを考える



トークセッション2

復興に向けて休眠預金活用の可能性

ファシリテーター：菅野 拓 氏 [大阪公立大学准教授]

(公財) ほくりくみらい基金 代表理事 永井 三岐子 氏

(一財) 里山里海未来財団 専務理事 森山 奈美 氏

(一社) 能登官民連携復興センター 事業推進チームマネージャー

石川県 復旧・復興推進部 創造的復興推進課 現地対策室 課長補佐

中橋 竜慶 氏

杉本 拓哉 氏



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

多様な人材が 能登の復興を担うために

公益財団法人 ほくりくみらい基金
永井三岐子

2025.9.3

<ビジョン>

「未来はつくれる！」と誰もが思える社会の実現

<ミッション>

- ・ お金のあたたかな循環をつくる
- ・ 仲間づくりのプラットフォームになる



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation





ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

1. 震災と豪雨対応

支援基金と助成実績



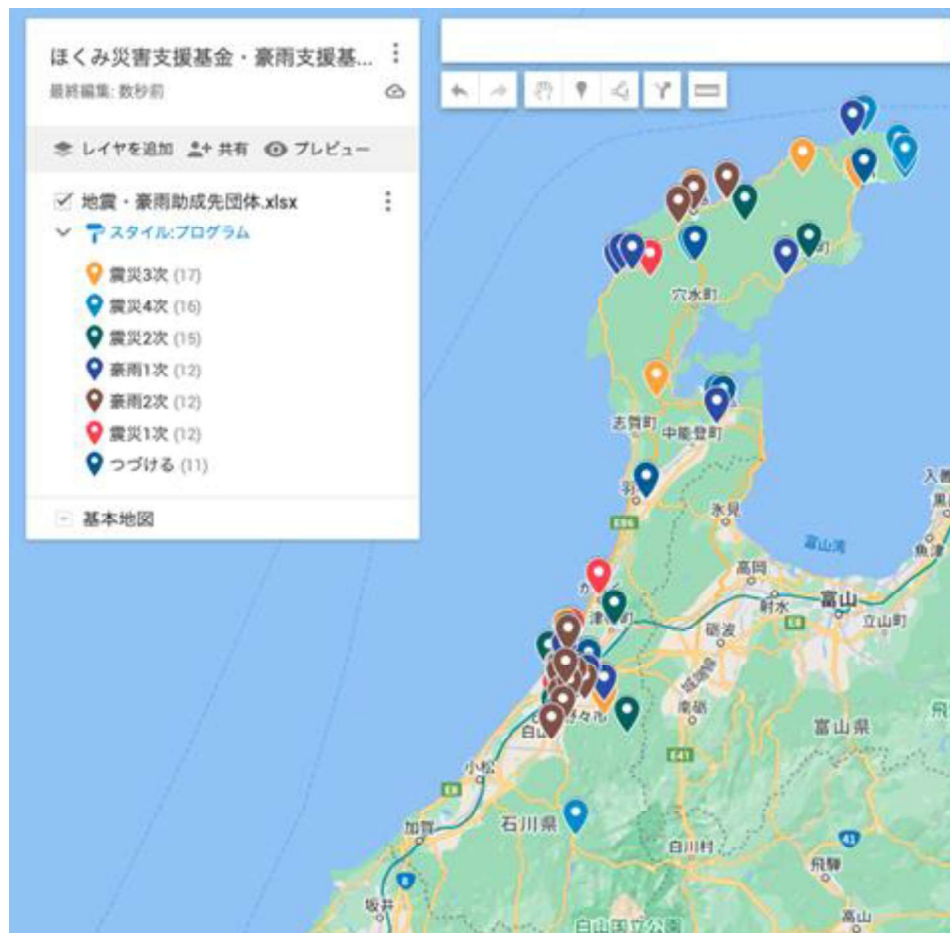
ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

プログラム (公募期間)	申請件数	採択件数	助成総額
震災緊急助成(1次～7次)	130	86	15,765,000円
豪雨災害支援緊急助成(1次～3次)	57	37	6,978,396円
つづける助成(復興支援女性)	48	11	30,490,135円
工芸作家応援基金(現在公募中)	7	7	350,000円
サントリー能登復興みらい基金	8	5	5,000,000

累計事業 : 146 助成額 : 58,583,531円



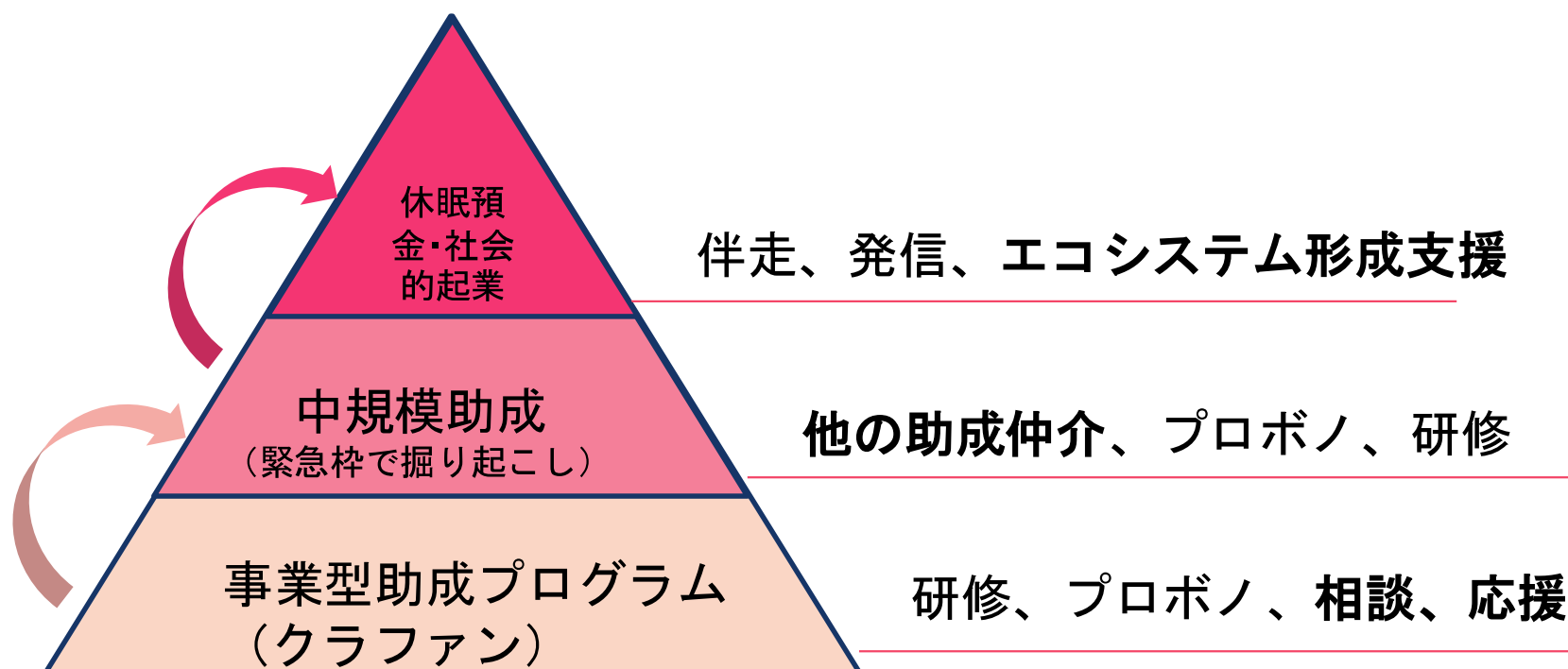
[Googleマップ](#)



人材育成と出口としての資金提供



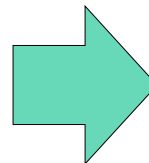
ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation



ほくみの学校プチと小額資金調達



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation



【被災地×食×つながり】能登の知恵と味を金沢で体験！郷土料理と自然の時間を



支援総額	
294,000円	
98%	
目標金額 300,000円	
② サポーター	36人
📅 残り	32日
2025年09月30日 23時59分 まで	
寄付をする	

プロジェクト応援型助成
(ほくみのプラットフォームで最初の
一歩と地域からの応援と仲間集め)

ニーズが見えにくいグループ支援事業（2024/6-2025/3）

多文化共人材の支援ニーズと支援者の掘り起こし

- 炊き出しによるニーズ把握
- キーとなる支援者、当事者ヒアリング
- 調査報告書の取りまとめ
- ネットワーキング



https://hokuriku-mf.jp/wp-content/uploads/2025/05/hokumi_report_multicultural_community.pdf

課題解決、復興まちづくりの女性担い手の掘り起こしと育成

- 能登の女性団体と連携し支援活動を展開
- 活動団体立ち上げ支援
- 域外の女性とのつながり(鶴岡ナリワイプロジェクト、気仙沼つばき会)によるエンパワメント



https://hokuriku-mf.jp/news/report_women/

資金分配団体として (2025/4~2028/2)



<https://noto-ninaite.studio.site/>

3回の事前研修を経ての2段階公募

①「一年間をふりかえり、これからの能登の未来を描くワークショップ」 2/24(月・祝)

②「自分の事業を深め地域や社会への波及効果を高める講義&ワークショップ」 3/20(木・祝)

③「自分の事業推進に最も適した機会を見つける・マッチング機会」 4/5(土)



4月公募にて3団体を採択

一般社団法人 現代集落	オフグリッド集落の実装と各集落の担い手の育成
NPO法人 つむぎ組+ビタミンG	介助タクシー&ライドシェアで多様な人を結ぶ事業
一般社団法人 能登復興ラボ	環型の暮らしを生み出す小さな里山モデル循環の担い手育成&持続可能な維持管理システムの実証自行

7月公募の団体審査中！



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

ご清聴ありがとうございました。



休眠預金を活用した災害支援事業への取り組み

能登が示す、ふるさとの未来
Noto, the future of country

株式会社御祓川 代表取締役
里山里海未来財団 専務理事
森山奈美

株式会社御祓川

まち・みせ・ひとを育てる民間まちづくり会社
2007年能登半島地震をきっかけに中間支援組織へ

設立：1999年6月23日

本社：石川県七尾市生駒町3-3

資本金：6,800万円（地元企業18社、1金融機関）

HP： www.misogigawa.com



小さな世界都市という未来を育てる。

御祓川大学

まち
育て

自然資源の循環

Misogigawa way

地域人財の循環

ひと
育て

まち・みせ・ひとの
関係を再生する



能登の人事部

みせ
育て

地域経済の循環

能登
スタイル
ストア

Vision

何を目指しているか

チャレンジが
生まれ続けるまち

Mission

何のために存在するか

小さな
世界都市の
実現

「小さな世界都市」

地方都市における持続可能な社会づくり

- 小さくとも世界に通用する3つの循環
- 一人一人の世界観を実現するまち
- 「小さな世界」としての自治の実現

Core competence

何を最も得意とするか

異質なものをつなげる
コーディネート力

Core Value

何を大切にするか

能登

拡張より密着

環境

最大より最良

協働

競争より連携



株式会社
御祓川



創業25年ー能登の民間まちづくり会社
ビジョン：「小さな世界都市・能登」の実現

■ 能登スタイルストア

能登の良い品を暮らしに届けるオンラインショップ

■ 能登の人事部

能登が「人が集まる企業群／地域」になるために。
能登の中小企業に伴走する人事のプラットフォーム

■ 御祓川大学

大学のない能登で、哲学・技術・実践を学び、
チャレンジを生み出す市民大学。

NRN 能登復興ネットワーク
Noto Reconstruction Network —いやさか—



2024年1月2日設立（10月1日一般社団法人化）
「能登が能登らしく復興するために」

■ 支援団体や企業からの支援コーディネート

地域外からの様々な支援リソースと能登をつなぐ。

■ 避難所／避難者対象調査事業

七尾市と協定を結び、七尾市内避難所の避難者および、
被災独居高齢者宅への訪問調査事業を実施。

■ 外部人材コーディネート

被災地域内で不足する人材問題に対して、ボランティア
や右腕人材派遣などの地域外人材をコーディネート。

■ 外部人材コーディネート

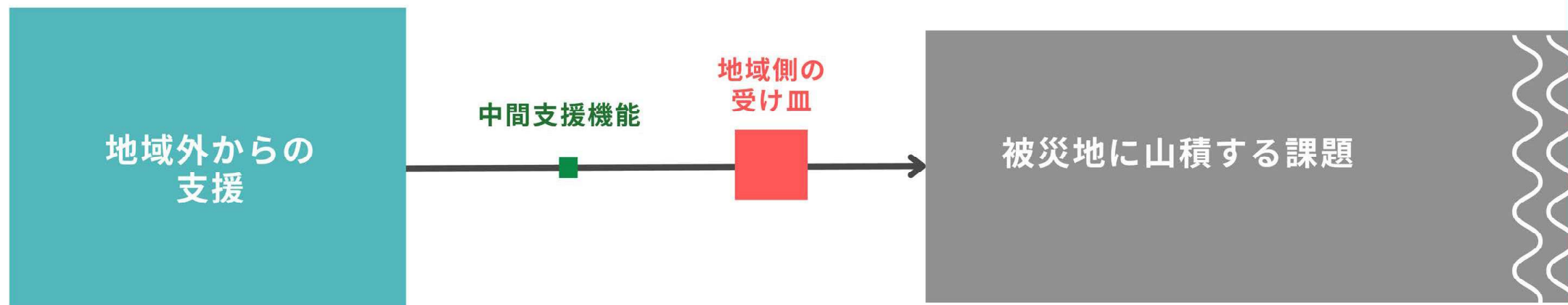
17年前・・・能登半島地震（2007年）の「教訓」



当時、すでに過疎による担い手不足が問題となっていた能登での発災。
復興の中心となる担い手たちが疲弊し、バタバタと倒れていきました。

あれから、さらに17年も歳を取り、担い手不足が加速する能登で、再び被災。
さらに少なくなった担い手が、「復興」も「日常」も、両方担わないといけない。
彼らが倒れてしまわないように、人的な支援が急務となっています。

直面している課題



※地域外の団体や企業からの支援が
地域で有効に実走していくためには、
「地域内の調整役」が必要、と言われています。

中間支援機能の不足

地域外からの支援と地域内をつなぎ調整をはかる「中間支援機能」を専門的に担える機関や人材が圧倒的に不足していることがボトルネックとなって、支援が地域に入っていくにくい。

支援の受け皿の不足

復興に向けて解決すべき問題や被害の大きさ・多さに対して、地域内の担い手（プレイヤー）が不足しており、外部からの支援の受け皿も不足している。

住宅の不足

人的支援を継続する上でも、地域企業の人材確保を考える上でも、滞在先となる「住宅」が能登全域で「ほぼ無い」状態。人材流入のチャンスを、このままでは逃してしまう。

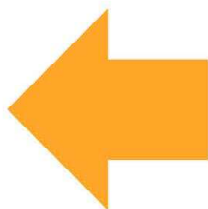
わたしと休眠預金



● 実行団体として



株式会社
御祓川
みそぎがわ



2019年度通常枠

SIIF
Social Innovation
and Investment Foundation

2022年度通常枠

 **TRUST BANK**

2023年度通常枠

 **Move Forward.
ETIC.**

● 資金分配団体として



里山里海未来財団

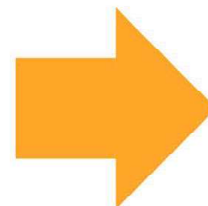
Japan Satoyama Satoumi Future Foundation

2022年度通常枠

南砺・七尾コンソーシアム



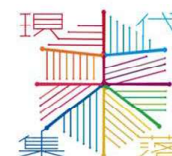
ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation



 一般社団法人
ななお・なかのと就労支援センター

 **シンママ応援団**
MAMA'S NEWSTYLE

 小規模共生型テイサービス
ひなたぼっこ



 **ふく
復耕
ラボ**
FUKUGOU
LABORATORY
Fukugou Labo


公益財団法人
南砺幸せ未来基金
Nanto Local Fund

2024年度通常枠

能登復興人材育成コンソーシアム

 **Move Forward.
ETIC.**



能登半島地震が私たちに突き付けている問い

1. 人間と自然

ヒトと自然はどのように向き合い、共存するのか？

2. 都市と田舎

自然の猛威に対して、人間はどのように助け合うのか？

能登半島地震は日本の分水嶺

自然の地形をお借りして米をつくってきた千枚田



固有の文化：キリコ祭り（日本遺産）







里山里海未来財団

Japan Satoyama Satoumi Future Foundation

2024年12月1日設立のコミュニティ財団
七尾未来基金設立準備会として、能登初の休眠預金資金分配団体に
震災後、能登エリアに対象を広げ、法人化

設立時ロジックモデル

ビジョン

能登の営みを未来につなげ、人と里山里海が響き合う地域をつくる

理念

誰ひとり取り残さない能登

組織の支援体制確立のための
基盤整備・強化（基盤人材の確保・育成）

長期 アウトカム

10年後

中期 アウトカム

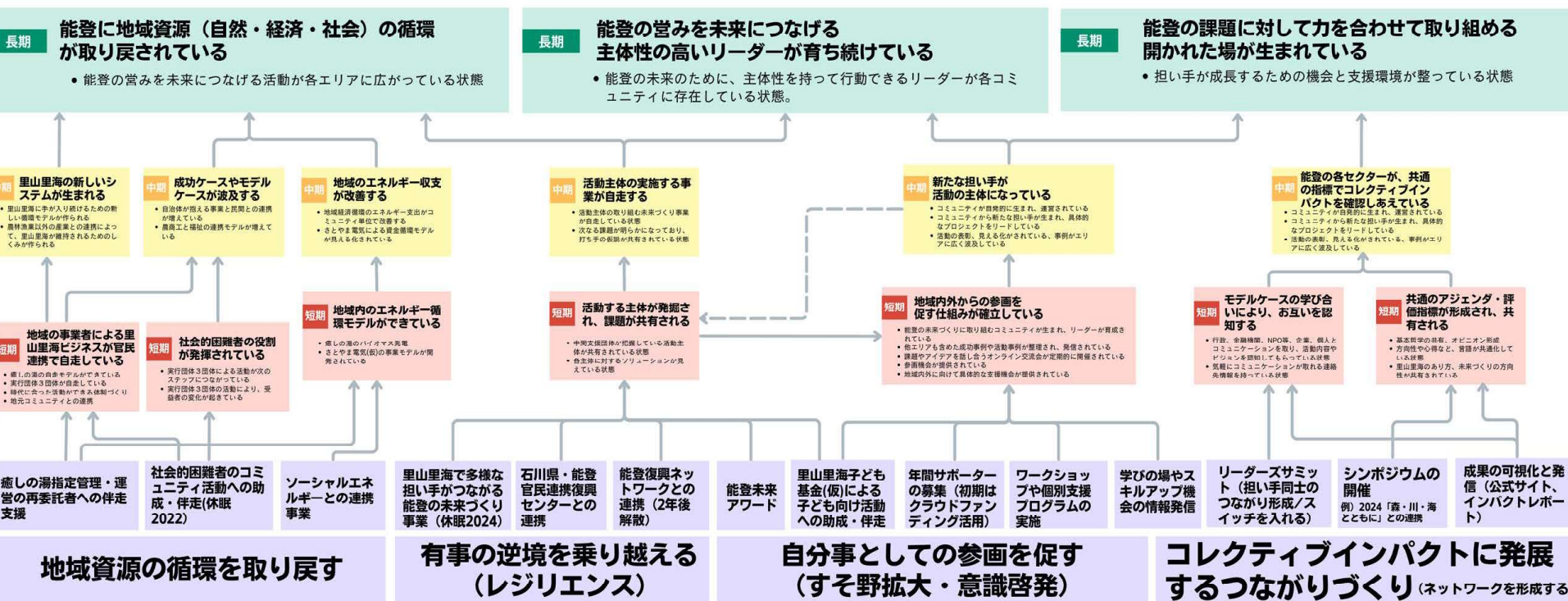
5年後

短期 アウトカム

3年後

活動

活動の柱



【年間サポーター募集】能登の里山・里海の営みを、共に未来へ紡いでいきませんか？

限定公開

satoyamamirai

まちづくり・地域活性化

石川県



【個人 / 法人 年間サポーター 募集】大震災によって、20-30年スパンと考えられていた能登地域の衰退は一気に進んでしまいました。だからこそ今、地域の「中間支援組織」である「里山里海未来財団」を設立し、衰退を食い止めながら「自らの手で挑戦の連鎖を起こす」土壌を育てていきたいと考えています。

¥ 現在の支援総額

4,041,770円

134%

目標金額は3,000,000円

支援者数

227人

募集終了まで残り

終了

お金の地産地消
＋
支え合う関係性

このプロジェクトは、2024/12/24に募集を開始し、227人の支援により4,041,770円の資金を集め、2025/01/31に募集を終了しました

もう一度プロジェクトをやりたい



年間サポーター



里山里海未来財団

Japan Satoyama Satoumi Future Foundation

能登官民連携復興センター「休眠預金事業」の伴走支援

- (一社)RCFは、**休眠預金**を活用し、復興まちづくりや生業再建への支援に取り組む**地域団体などの活動費を助成** (各団体1,500万円程度)

→ 一般社団法人RCF (代表理事：藤沢烈)：休眠預金の資金分配団体

→ 休眠預金：国内の10年以上取引の無い預金。各金融機関から預金保険機構に移管された後、日本民間公益活動連携機構(JANPIA)^{ジャンピア}を通じて各資金分配団体に交付

- センターは、RCFと連携し、地域団体などの掘り起こしや、採択団体を伴走支援

(公募期間 令和6年12月末～)

30件の申請があり、**11件**を採択

テーマ	団体名	主な事業の概要	活動地域
復興 まちづくり 【5件】	和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会	和倉温泉の復興の中心となるまちづくり会社の設立や、域外企業・団体との連携促進	七尾市
	一般社団法人サポートスズ	アーティストと協力したワークショップなどを開催し、地域住民による復興プロジェクトを創出	珠洲市
	町野復興プロジェクト実行委員会	町野地区の復興まちづくり計画の策定や、住民の新しい挑戦をサポートする交流拠点の運営	輪島市
	輪島支援協働センター	民間ボランティアセンターの設置や防災マニュアルの作成など、地域の防災力を高め、災害に強いまちづくりを推進	輪島市
	輪島市本町商店街振興組合	輪島朝市エリアの復興に向けた整備計画の検討や、プロモーションを実施	輪島市

能登官民連携復興センター「休眠預金事業」の伴走支援

テーマ	団体名	主な事業の概要	活動地域
生業再建 【6件】	輪島塗復興協議会	輪島塗関係者が一体となった連携体制を構築し、復興計画の策定や展示会を開催	輪島市
	しんきん能登復興コンソーシアム	地元金融機関が連携し、復興商談会の開催や、新商品開発を支援	輪島市、珠洲市、能登町、穴水町、七尾市、志賀町
	株式会社 ^{そら} 宙と土	珠洲焼の復活に向け、珠洲焼作家同士が共に助け合う、共同 ^{しょうせい} 焼成などの新たな仕組みづくりを構築	珠洲市
	^{ヴァルト} VALT JAPAN株式会社	能登でのデジタル人材の育成を通して、能登にリモートワークといった柔軟な働き方を創出	珠洲市、能登町等
	能登森林組合・公益社団法人石川県木材産業振興協会	異業種とも連携し、アテ林業の持続化・能登ヒバの高付加価値化の取り組みを創出	輪島市、珠洲市、能登町、穴水町、七尾市 等
	能登島地域づくり協議会	地域資源を活かした特産品の開発など、地場産業の活性化に取り組む地域商社の機能強化	七尾市

能登官民連携復興センター 「休眠預金事業」の伴走支援

＜採択団体の取り組み例＞

和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会

- ・和倉温泉の復興の中心となるまちづくり会社の設立や、域外企業・団体との連携を促進
- ・住民同士が復興に向けた思いを語り合う「和倉トーク」を開催し、地域のコミュニティづくりを推進



(写真 和倉温泉創造的復興まちづくり協議会HP)

一般社団法人サポートスズ

- ・珠洲の暮らしや生業の写真を集めて展示する「スズレコードセンター」を運営し、住民が地域の文化や魅力を生かした今後のまちづくりについて語り合う交流会を開催
- ・珠洲ゆかりのアーティストと協力したワークショップを開催し、住民による復興プロジェクトを創出



輪島塗復興協議会

- ・輪島塗関係者が一体となった連携体制を構築し、業界の課題や輪島塗の今後のあり方について議論し、復興計画をとりまとめる
- ・対外的な発信として、展示会の開催や、SNS等で職人に関するPRにも取り組む



しんきん能登復興コンソーシアム

- ・地元金融機関である「興能信用金庫」と「のと共栄信用金庫」が連携
- ・能登6市町全域の事業者を対象に、復興商談会の開催や、新商品開発を支援



能登事業者×パイヤーの商談会

センターは、採択団体に伴走し、進捗の確認や事業改善のアドバイスなど、活動をサポート

能登官民連携復興センター

石川県復旧・復興推進部創造的復興推進課／能登官民連携復興センター
杉本拓哉

(一社) 能登官民連携復興センターの設立と役割

